

7年生 幼児の遊びを支える衣装づくり

7年生の家庭科では、「服装によって、遊びをどのように支えられるだろうか」をテーマに、幼児の生活や遊びに合った衣装づくりについて挑戦しています。これまで子供たちは、幼稚園での観察や素材実験、保護者へのアンケートを通して、動きやすさや通気性、汚れにくさなど、遊びを支える衣装の条件について考えてきました。

今回の幼稚園訪問では、子供たちが考えた衣装のアイデアを幼児に紹介しました。「どんな色が好き?」「どんな服だったら着てみたい?」「もっとこうしてほしいことはある?」など、幼児の思いや願いを直接聞きながら交流を行いました。幼児からは、「キラキラした服がいい」「好きなキャラクターがついていると嬉しい」「ポケットがあるといい」など、たくさんの意見が出されました。これまで考えていた機能面だけでなく、幼児が「着たい」と思えるデザインや楽しさも大切であることに気付いていく姿が見られました。

今回の交流を通して、子供たちは幼児の思いを取り入れながら、遊びを支える衣装についてさらに考えを深めることができました。

